

令和6年度 東京都高等学校春季卓球大会 の報告

野津田高校卓球部 学校対抗の部（団体戦）東京都ベスト16

4月中旬から令和6年度東京都高等学校春季卓球大会 兼 関東高等学校卓球大会東京都予選会が始まりました。今年度の高体連主催大会はこの大会が最初です。春休みには東京都の学校だけではなく、山梨県や千葉県、埼玉県、神奈川県との学校とも練習試合をさせてもらい、今大会で成果を発揮することができればと思っておりましたが、野津田高校の選手は持てる力を発揮してくれました。

4月21日（日）、東京体育館サブアリーナでダブルスの部が行われました。小林・市川組は2回戦3－0、3回戦3－1、4回戦3－0で勝ち5回戦進出。決勝大会進出を賭けた5回戦ではシードペアを倒して勢いに乗る篠崎高校のペアとの対戦でしたが3－0で勝ち東京都ベスト32進出を決めました。

ダブルスの部の決勝大会は4月27日（土）に富士森体育館で行われました。関東大会の出場枠は2組です。その2組を目指して熾烈な戦いが始まりました。小林・市川組は6回戦、東海大菅生のペアと対戦。0－3で負けてしまいましたが、後半は良いラリーもあり見せ場を作りました。また、生徒の保護者や家族の方、そして野津田高校の先生も応援に駆けつけてくれました。ありがとうございました。

4月29日（祝）は日野市市民の森ふれあいホールで学校対抗の部（団体戦）が行われました。我が野津田高校は4月に新入部員1名を迎え、部員が4名になり出場可能最低人数で学校対抗の部を戦いました。ノーシードからの挑戦です。1回戦は紅葉川に3－0、2回戦は新宿に3－1、3回戦はシード校の南平に3－1、4回戦は前回大会東京都ベスト16の日野に対して3－1で勝ち東京都ベスト16進出を決めました。今大会でノーシードからベスト16に勝ち上がったのは野津田高校のみでした。続く5回戦の相手は昨年度も関東大会に出場している明大中野。トップの市川が1対3、2番の嶋田が0対3、3番ダブルスの小林・市川組が1対3と負けてしまい0－3で明大中野に負けてしまいました。

しかし、昨年5月の生徒総会で同好会から部活動に昇格した卓球部。部活動に昇格してわずか1年で東京都ベスト16に入りました。私が野津田高校に赴任した3年前、卓球部の練習場所である剣道場の床を当時の2年生部員1名と一緒にぞうきんがけをしたり、剣道場の下駄箱を掃除しました。また、経営企画室の方をお願いしてカーテンをもらいました。卓球フェンスや多球練習用のボール台は他校から譲り受けたりなどゼロからのスタートでしたが、やればできることを生徒が証明してくれました。今後もしっかりと活動していきますのでご期待ください。

・令和6年度東京都春季卓球大会の結果

ダブルス 小林・市川 組 6回戦敗退（東京都ベスト32）

学校対抗（団体戦） 5回戦敗退（東京都ベスト16）